

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋 津 孝 久
幹事 野 村 紀 代 彦
会報委員長 横 山 宜 幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2789回例会プログラム

[当年度=23回目；当月=3週目]

2013年（平成25年）1月21日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
 - 12:28 1. チャイム
 - 12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉
 3. 開会宣言
 4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
 5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
 6. 食 事
 - 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
 8. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
 9. 幹事報告
 10. 出席報告
 11. 委員会報告
 12. ニコニコボックス報告
 13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(1/28) ……クラブフォーラム
(ロータリー情報委員会)
地区出向者アワー 加藤 真治 会員
" 杉浦 文雄 会員
(紹介者 神野 公秀 会員)
 - (2/4) ……
卓話 「気仙沼報告 (地区補助金事業)」
クラブロータリー財団委員長
伊藤 節夫 会員
地区出向者アワー 吉原 孝彦 会員
 - 13:00 14. 本日のプログラム
卓話 「歴史と文化を大切にしまちづくり
～刈谷城築城480年記念事業～」
講師 刈谷市長 竹中 良則 様
(紹介者 加藤 真治 会員)
 15. 謝 辞
 16. 点 鐘……〈会 長〉
 17. 閉会宣言
 - 13:30 18. 散 会

ゲ ス ト

刈谷市役所 企画財政部 広報広聴課
主幹 岡部 直樹 様
米山奨学生 トゥリン・ティン・ダット 君

出 席

会員総数 93名 出席免除 28名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠席 3名 出席率 96.47%
前々回 (12/20) の修正出席率 100%

会 長 報 告

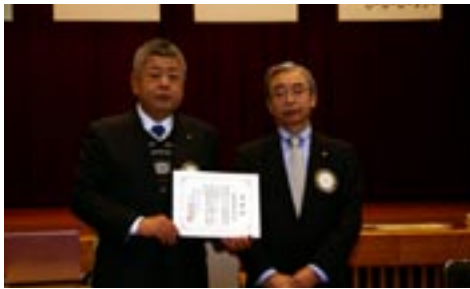
- 1) 1月11日 水越副会長に平成25年愛知県刈谷警察署感謝状贈呈式に出席して頂きました。
- 2) ロータリー財団より大口寄付者の認証のピンとクリスタルの盾が盛田豊一会員に届いています。



- 3) ロータリー財団より津田鎮輔会員にポールハリスフェロー認証状とバッジが届いています。また、マルチプルポールハリスフェローのバッジが届いています。3回目が、前田孝司会員、マルチプルは塚本幸夫会員、岡本巧会員、吉原孝彦会員です。



4) 米山記念奨学会より、米山功労法人感謝状が毛受豊会員の城東電機株式会社に届いております。



幹事報告

1) 国際ロータリー日本事務局より、2013年1月のロータリーレートが、1 \$82円と連絡が来ています。

会長あいさつ

半分について

嶋津 孝久



新年を迎えて私の年度も折り返し点を過ぎました。先日、4クラブ(刈谷・碧南・高浜・知立)会長・幹事・事務局懇親会の席で近況報告をしました。その際に申し上げた事で、ウイスキーのボトルがあって、これを半分まで飲んでしまったとします。

この場合に「もう半分しかない」と思う人と、「まだ半分ある」と思う人がある。つまり、どんな状況でも、本人の心のありようで変わってくるという例え話をしました。

英語で結婚相手の事をベターハーフといいます。これはギリシャ神話から来ていました。その昔人間は今の2人で1人でした。ですから、頭が2つ、腕も足も4本全体には球体で、急ぐ時には転がって非常にスピードがあった。また、力も強かったので、増長して神を敬わなくなった。この結果、ゼウスの怒りをかい、2つに切られて、今の私達の体になった。その後、人は今でも切られてしまった自分の半分を求めるのだそうです。

ただ、英語ではただのハーフではなく、ベターハーフと言います。このベターは2つの内良い方をいいます。つまり、両方が自分の相手をベターだと思っていれば、夫婦なかも、うまくいくという教訓でもある訳です。

以前「〇〇〇の半分は優しさでできています。」と言う、鎮痛剤のコマーシャルがありました。この薬1錠が540mgで、薬価は1錠あたり5円80銭でした。半分か優しさでできているとすると、優しさとは1gあたり11円になります。また、奥様から「あなたには優しさ足りない」と言われている方は、ぜひこの薬をお飲み下さい。

お祝い

1月の会員の誕生日…神谷光義、原田光二、橘典子、竹内一郎、岡本巧、石川覚雄、兵藤文男、稲垣俊彦、大参富昭、小川耕示会員。

配偶者の誕生日…坂貞子(茂)、高野延子(基弘)、杉山恵美子(欣輝)、原田トモ子(光二)、杉浦真佐子(世志朗)、鈴木ゆかり(文三郎)、小澤敏子(陽一)、稲垣貴子(俊彦)、新海好美(伸二)様。

結婚記念日…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、稲垣俊彦、角谷広高、埴米一、吉岡秀記会員。

1月度入会記念日…杉浦世志朗、鈴木文三郎、伊藤禎康、下谷敏朗会員。

還暦のお祝い



石川 覚雄 会員

卓話

歴史と文化を大切にしまちづくり ～刈谷城築城480年記念事業～

刈谷市長 竹中 良則 様



本日は、お招きを頂きまして、ありがとうございます。

さて、本市は今年(2013年)刈谷城の築城480年を迎えますので、これを記念して様々な事業を開催しようと計画しております。

そこで、本日は、この記念行事を進めていくにあたりまして、刈谷の歴史を含めお話をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

刈谷の地は、縄文時代には、衣が浦という入り江の東側に位置する豊かな土地でありました。その後、平安時代は重原荘とよばれる地域の一部であり、鎌倉時代には、地頭として、重原氏・二階堂氏・大仏(おさらぎ)氏が重原荘を治めたという記録が残っているようであります。

そして、戦国時代に入り水野氏の進出があり、水野忠政により天文2年(1533年)に、当時の金ヶ小路(かねがしょうじ)と呼ばれる、現在の亀城公園の地に刈谷城

を築城し、戦国から江戸期にかけて、本格的な城下町として整備されはじめ、今日の刈谷というまちに発展してきたきっかけになったと言われています。

そして、迎える本年、2013年が、天文2年（1533年）の刈谷城築城から480年の節目の年となります。

また、平成25年は奇しくも、文久3年（1863年）に天誅組が義挙してから150年を迎える年でもあります。

この天誅組とは、幕末の世に徳川幕府を倒し、天皇を中心とした世の中に変えようとして立ち上がった尊王攘夷派の集団でありまして、当時の刈谷藩の志士であった松本奎堂・宍戸弥四郎らが参画し、特に、松本奎堂は、総裁として中心的な地位についていたとされております。

しかしながら、新しい時代を創ろうとした彼らも、当時は残念ながらまだその期が熟していなかったため、京都で挙兵したものの、結果としては現在の奈良県東吉野村で悲運の最期を遂げました。

一旦は「暴徒」とされ追討を受ける身となった天誅組ですが、明治に入ってからその行動が再評価され、天誅組志士たちにも特旨による贈位や靖国神社への合祀が行われております。

こうした節目の年に、本市では2020年、平成32年、市制施行70周年を目指して、刈谷の発展の礎となった刈谷城の復元を含めた亀城公園の再整備を完成させることを目標に事業を進めてまいり、そのスタートを切りたいと考えております。

この“刈谷城”と“天誅組”という2つのテーマを軸にして、「刈谷城築城480年記念事業」を展開してまいります。

この事業を通して、まず「歴史のまち 刈谷」をアピールしてまいりたいと考えております。我々が今住んでいるこのまちは480年前からまちとしての歴史を刻んできた、ということアピールし、郷土への愛着をはぐくむとともに、他に誇ることのできる新たな魅力を掘り起こしてまいりたいと考えております。

また、交流人口の拡大を図ってまいります。本市と歴史的な関係のある都市との関係を深め、刈谷を知ってもらって訪れて頂く、そして市民の皆さんにこうした関係を基に広く交流してもらえるきっかけを作ってまいります。

そして、刈谷城再整備に向けた機運を高め、「歴史のまち 刈谷」という新しいまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

さて、それでは来年度どんなイベントが開催されるかという点について、触れさせていただきます。

一番の中心は7月27日から8月25日までの1ヶ月間にわたって、刈谷市美術館で開催を予定している「刈谷城築城480年記念展」です。

この記念展では、刈谷城と天誅組に関する資料を展示し、刈谷の歴史を知って戴くとともに、現在作成中の刈谷城のCGのお披露目をする予定です。

また、記念展の開催期間中には、刈谷の歴史に関する各種イベントを開催する予定で、東京学芸大学教授大石学（おおいし まなぶ）氏による江戸時代に関する講演会、名古屋工業大学大学院教授 麓和善（ふもと かずよし）氏による城郭建築に関する講演会、そして本市と東吉野村による天誅組シンポジウム、さらには図書館、郷土資料館などでも歴史にちなんだ展示・イベントなどを行い、市民の皆さんに歴史に対する興味・関心を高めたいと考えております。

また、刈谷城を作った水野家の第20代当主水野勝之氏をお招きした講演会、また、水野家が転封された大和郡山市、福山市、結城市などの関係自治体にお集まりを頂き、水野家サミットなども開催できればと計画しているところでございます。

この他にも、桜まつりや大名行列などとのタイアップや、市内の幼稚園・保育園による甲冑行列や刈谷城の発掘体験教室などを開催し、市を上げて築城480年を記念する行事を開催し、「歴史のまち 刈谷」を内外に積極的にアピールしてまいりたいと思いますので、皆様にもどうかご理解・ご協力をお願い致します。